

音コンサート」を聴きに行つてきました。演奏者の一人の方は脳出血で片側が麻痺してしまい、大好きだったバイオリンが弾けるようになりたいとリハビリをと練習を続け、病気を克服されたそうです。肩はまだ痺れていますが、演奏しているときは忘れるということ。澄んだきれいな演奏で、よくここまで頑張ったなと感動しました。家族の協力で病気を好きになつたり、嫌いになつたり、日々を楽しんでいますとおっしゃつていたのが印象的でした。

別の方は、ケアセンターで「まぐれ軽音楽部」に入り、倒れてから言葉が出なかつたが、好きな歌でリハビリをし、今は人前で歌つたり、講演も頼まれるようになります。歌ううえで、冬景色は「津軽海峡」なんい



大寒に入り、例年ない大雪となり、午後から雪が降り始め、夕方には家庭木に雪が積もり、きれいな雪景色を眺めていました。ユースでは「足元に気をつけて」「早めに帰宅しましょう」「明日は滑らないよう」「時間にゆとりを持つて出勤しましょう」と親切に繰り返し放送されていました。朝起きると外は銀世界。玄関、駐車場の前の雪かきをし、朝食をとっていると、ご近所さんがそれぞれの家の周りをきれいに雪かきしていました。角地になる我家だけしないのは申し訳ないので、午前中かけて汗びっしょりになりながらきれいに雪かきをしました。終えて家に戻ると全身が痛くなり、高齢者はきつい作業だったようで、翌日から寝込んでしまいました。

2月に入り、天気予報通り2回目の大雪。今度は雪かきは通るところだけにして、後は自然に融けるのを

昨年から始まつた、この「リレー能」（略称）の試みは、観世、宝生といつた流派の枠を越え、それぞれが同一演目を毎週木曜日の夜に水道橋、青山、矢来にあるそれぞれの能楽堂で順次3日間上演するという画期的な試みである。

昨年は「葵上」今年は「黒塚」（流派によつては「安達ヶ原」）であつた。全国に70もあるという能楽堂の有効活用と能樂爱好者人口の拡大、加えて外国人観光客や初めて能を見るという人にむけての日本の伝統文化紹介を主な目的としているはじめに30分解説と謡曲のさわりを謡い、やがてお能が始まる。イヤホンガイドや眼鏡式の解説機器も導入しての開演である。私は英語解説を片方で聞きながら鑑賞した。程よい解説で邪魔にはならなかつた。後で主催者の先生に聞くと、事前に動きと解説を合わせる工夫をし、当日は動きに合わせて解説を流すように機器担当者を訓練したこと、ご苦労な話である。



した。敵しい義父、義母の看病のために同居。ご主人の突然の事故で数え切れない損傷を受けながらも危険な状態から命を取り留めたこと。苦しいリハビリに耐え、車椅子から3ヶ月で仕事に復帰できたこと。しかし、頭を強く打つていたために感情をコントロールできない後遺症が残り、仕事から帰ると家族に当たり、夕食の明るい会話もできずにいたこと。

高校の寮にいる息子が体調を崩したため、家から片道3時間かけて通学することになり、主人は大好きな晩酌もやめ、朝早くから夜遅く駅までの送迎を毎日してくれたこと。そのお陰で夕食を家族一緒に取れるようになり、20年かかりましたが、今は幸せに暮らしています。20年の想いが綴られていました。

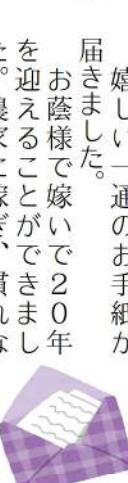
よく乗り越え頑張れたと頭が下がります。ご結婚20周年おめでとうございます。素敵なお手紙をありがとうございます。

●畠山と直向さん
ありがとう



情緒が伝わってきて、自然に涙が流れます。MCは涙あり笑いありの明るいトークでした。

●「能楽堂リレー公演」に
ありがとう



●素敵な手紙をありがとう。ことなのだと胸の熱くなる思いがした。垣根は低くなつてきている。かくなる上は一人でも多くの方に親しみを持つて観に来て頂くことである。(品川区/A・N)

● ほまきにありがとう

息子が通う中学校では大寒になると、一年で最も寒さの厳しいこの時期に1週間「絶寒」があります。朝5時に起きて、6時に家を出ます。早朝は吐く息も白い寒波の中、嫌がらず友達と一緒に通学します。男子なのであまり多く話しませんが、友達とふざけたり、励ましあつたりしながら、上野公園を1時間、休憩なしで走るそうです。何事にも耐えられる、すぐにつれれない、我慢が持続できる、子供の成長に大きなことです。

先生の方のご協力で毎年続けられているお陰で、息子もたくさんになりました。ありがとうございます。

今年の冬は寒波に見舞われ、例年ない寒さに、毎日「寒いね寒いね」と連発していま
したが、暦の上では立春を迎えました。我が家でも節分にはめざしをたくさん、
買いこみ、格に刺して出入り口に飾り、
息子と4人の孫が「福は内！鬼は外！」
と大声で豆まきが始まると、にぎやか
なことにぎやかなこと。これでは鬼も
退散です。ママが焼いてくれためざし
と、年の数だけ豆をいただき、一年間
の無病息災を祈りました。





●講師の先生にありがとうございます

「樂しくできる心と体の健康づくり」という講演会があつた。対象は元教職員で、60才代～90才代の男女役40名。講師も我々仲間の70才代前半の男性。長らくサッカーをやっていて元気いっぱいの方。自己紹介が行われ生活信条は「人生は一度、夢を追い進」「夢いっぱい、花いっぱい、笑顔いっぱい、元気いっぱい」現在は水泳指導や親子ミニバレー教室を行つてい。受講者の前で立つて靴下を履き、

おじちゃんと観に行つてきて。いつもお世話になつていいから」との思いがけないお誘いをいただき、姉夫婦と4人で両国国技館に行つてきました。入口にある横綱のパネルの横で写真を撮り、テレビではいつも見ているものの目の前で観る取組の迫力に興奮し思わず大声で応援していました。お弁当をいただきながら観戦したり、館内を見学したり、帰りには持ちきれないとほどのお土産をいただいて、楽しい一日を過ごしてきました。やさしい甥っ子にありがとう。

大相撲、初場所は幕下「栃ノ心」の優勝で幕が下りました。お正月に「お相撲観に行つたことないわ」の私の一言を覚えていてくれたのか、先日、甥っ子から電話があり「一大相



●甥っ子にありがとう

(日黑区)
H · O

運動の嫌いな人、必要とわかつても続かない人は、カラオケ、行くで歩く、週1、2回と増やせばよい。講師の方は長年サッカーをやつてた人らしく、レッドカードやイエローカードよろしく、3枚の色カードを全員に渡してくれた。質問について①イ②わからない③ダメの答えをそれぞれ出すよう指示。皆、自分のこととして自席から揚げた。

・ペットボトルの栓を開けられない等々をあげる。
では、これから的生活でどのよう
したらよいか。
・食生活では魚、肉、野菜を食べる
・知的な活動を取り入れる
例　囲碁、将棋、絵画、手芸等
・笑うこと、脳を元気に

心と体の健康問題では運動不足、筋力の低下、体力不足、ストレスがある。生活習慣病では肥満、高血圧、高脂血症、ガン、歯周病と説く。心の問題では悩み、不安、ストレス、気力の低下をあげる。



【原稿をお待ちしています。】



【携帯 De シヨウブ】

【渋滞解消プロジェクト】 東京に数年ぶりの大寒波がやってきました。都会の交通網は脆く、大雪の影響で電車の遅延、道路の渋滞と大混乱でした。

帰宅する頃になると久々の雪を楽しむ子供たちの姿が、道路わきに作られたたくさんの雪だるまに気持ちが温まりました。

- 携帯電話の方はQRコードから →→→
 - パソコンの方は下記のURLから ↓
<http://1039.seesaa.net/>
 - メールでのご投稿は…
info@arigatou-mail.com
【編集・企画】株式会社ありがとう・不動産 編集部
 - 株ありがとう・不動産HP <http://www.mrdgold.com/arigatou>

